

開催日時	平成26年1月9日（木）午後7時30分～午後8時40分		
会場	陣ヶ峯公民館	出席者数	12人
地域座談会の内容（市長講話・質疑応答の内容等）			
<p>① 陣ヶ峯に上がってくる道路の上斜面にはカヤが生えており、積もった雪で雪崩の危険があるので対処してほしい。新町の角（県道か？）の崖にはブルーシートがかけてあるが、危険ではないか。市道の坂の上の雪崩は、木が大きくなると危険になるので、伐採してほしい。</p> <p>→ 今後も情報提供をお願いしたい。</p> <p>② 実施計画（新聞紙上）によると、水道断水対策として、井戸の掘削と配水池のバックアップ体制とあったが、どういうことか。</p> <p>→ 県が広域水道で対応策を取るが供給停止が0になるということにはなりません。そのため、市では自己水源割合が5割となっているのをもう少し高めるため新しく井戸を掘削するということです。ただし、一気に対策を進めると、費用が嵩み、水道料金に跳ね返るため、年次計画で進めていきます。</p> <p>③ 防災行政無線とはどういうものか。</p> <p>→ 断水や震災の時も広報車を出しましたが、家の中では聞こえづらいということで、各地区に瞬時に情報が伝わるように整備するものです。また、全ての町会長さんから端末をもってもらい、町会長さんには必ず情報が伝わるようにします。</p> <p>④ 60周年記念事業で、60年前当時のことを、記念誌・パンフレットでもいいので作成して全戸に配ってはどうか。</p> <p>→ いい考えかと思います。市報を特集号にしてみることもよいのではないかと思います。保存版にしていいし。</p> <p>⑤ 昨年、母が100歳でなくなったが、それまで大した病気もしたことがなく、開業医の往診のみで介護認定も受けていなかった。妻と二人で老老介護</p>			

をしていたが、妻が体調を崩してからは、買い物にも行けず、大変困った。健康福祉課に相談したが、暫定的な認定（要介護1）は出たが介護サービスをすぐには対応してもらえず、認定まで2カ月もかかった。困ってすぐにも助けてもらいたいときに対応してもらえる方法はないのか。たとえば、町会で把握しておいていざという時に対応してもらえることなどできるのではないか。

→ 突然介護できなくなるということもありますし、行政でもケースバイケースを想定しながら個別に対応を検討していかなければならないかと思えます。また家族に事前に準備をお願いすることも必要かと思えます。

在宅高齢者の家族介護が困難になった場合は、速やかに申請をしていただき、介護認定が出る前から暫定的に各種の介護サービスを受けることができますので、申請時に相談してください。（健康福祉課高齢福祉室）

⑥ 在宅介護に対応できるように、相談できる市内の医者を教えていただきたい。自宅ではだめだと医者に言われて、病院に行けば入院の必要はないと言われる。市立病院の対応はだめだ。

→ 在宅介護のネットワークを立ち上げたところです。

⑦ 町会の道路側溝は10年ほど前に整備したのですが、生活雑排水も流れており、レベル（勾配）がないのか汚泥がたまって衛生面で問題となっている。町会でも泥上げをやっているが、毎日のことですぐ溜まってしまう。なんとかお願いできないか。

→ 担当課でも状況を把握しているようですので、もう一度方法を検討していただきたいと思えます。

⑧ 慈恩寺の計画に「悠久」とあるが、どういう意味か。少し難しいのではないか。

→ 延々と続くという意味でいいかと思えます。

⑨ 市の除雪オペレーターの自宅前だけいつも特別きれいに除雪しているがいかがなものか。

⑩ 中学3年生まで医療費が無料になるということで素晴らしいことだが、病気の種類はどのようなものでも対象になるのか。また、長期療養でも対象なのか。

→ 中学3年生まではすべて無料の対象となります。

⑪ 市内2カ所で休日保育を実施するようだが、白岩以外で実施することになった場合、白岩の人はそこに子供を連れて行けば預かってもらえるのか。

→ 地区外の人でも預かります。